

2022年度 変額年金保険(特別勘定)決算のお知らせ



- 当資料は、特別勘定の運用状況等を報告するための資料であり、生命保険契約の募集または特別勘定が保有する投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- この商品は、特別勘定の運用実績に基づいて年金額、積立金額、解約返戻金額等が日々変動(増減)する個人変額年金保険(生命保険)です。
- 当資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当社では、ご契約の申込時や各種お手続きにおいて、保険料などを現金でお預かりすることはありません。お客さまが保険金などをお受取り後に新たなご契約にご加入される際にも、保険料を現金や小切手でお預かりすることや、個人名義や代理店名義の口座など、当社名義以外の口座にお振込をお願いすることはありません。ご心配・ご不審な点がございましたら、下記コールセンターまでご連絡をお願いします。

お電話でのお問い合わせ先

ジブラルタ生命コールセンター

●一般のお客さま

ミナ ジブロック

0120-37-2269 通話料無料

●教職員のお客さま

ミナ キョウイク

0120-37-9419 通話料無料

受付時間 平日 9:00～18:00 / 土曜 9:00～17:00 (日・祝・12/31～1/3を除く)

2023年7月作成



Gibraltar
ジブラルタ生命

ご契約者のみなさまへ

弊社保険につきまして、日頃よりご愛顧、ご継続をいただき誠にありがとうございます。

さて、2022年度の決算を終えましたので、特別勘定についての決算概要をご報告申し上げます。当期の特別勘定の運用につきましては以下のとおりとなっております。

今後ともご期待にお応えすべく運用力の強化に努めてまいりますので、一層のお引き立ての程よろしくご厚意申し上げます。

1. 市場動向(2022年4月1日～2023年3月31日)

【市場動向】

2022年度の運用環境は、海外における積極的な金融引き締め強化に伴う景気減速懸念の高まりが、主に外国株式をはじめとするリスク性資産の価格下押し圧力となりました。

国内株式市場は、年度前半は海外株式が軟調に推移する中、不安定な動きが継続しましたが、円安の進展が下支えとなりました。その後は、日銀による金融政策修正を受け、株価は一時下落する局面もありました。年度末にかけては、世界的な金融不安を背景に株式相場は下落したものの、各国の政府や中央銀行の迅速な対応を好感して回復する展開となりました。国内債券市場は、10年国債金利は日銀による長期金利の変動許容幅上限の0.25%近辺での推移が継続しました。その後、日銀が長期金利の変動許容幅を引き上げたことで、金利は変動許容幅上限の0.50%近辺まで上昇しました。3月には日銀が金融政策の現状維持を決定したことに加え、米国の中堅銀行破綻により金融システム不安が高まったことなどから金利は低下しました。

米国株式市場は、年度前半はインフレ抑制のためのFRBによる積極的な利上げが景気後退懸念を高め下落基調となりました。その後は、利上げ期間の長期化観測が上値抑制要因となりましたが、インフレ指標の落ち着きを背景に緩やかな持ち直しに転じました。年度末にかけては、金融不安の高まりから下落したものの、政府や中央銀行の迅速な対応で回復する展開となりました。米国債券市場は、年度前半は堅調な経済指標や金融引き締め姿勢の継続などを背景に上昇基調で推移しました。年明け以降、金融引き締め姿勢の長期化観測などから金利は再び上昇する場面もありましたが、金融システム不安の高まりなどを背景に安全資産としての国債買いの動きが強まったことなどから金利は低下しました。

○最低年金原資保証タイプ

(1) 当期の運用方針及び運用内容

運用の基本方針は、国内外の株式・国内外の公社債・短期金融商品等を組み合わせ、リスク低減に努めつつ中長期的な運用成果を目指しております。資産配分は「株式30%、債券(含、短期金融商品等)70%」を基本配分とした上で市場環境等の変化に対応するために、±20%程度の範囲内で基本資産配分に対する許容範囲を設けております。また、株式及び債券の内訳はリスクを抑制するため主に円貨建有価証券等で行います。

当期につきましては上記の基本方針の下、債券(含、短期金融商品等)部分についてマイナス金利環境に配慮したポートフォリオを構築し運用を行ってまいりました。

また、上記のような市場動向の下、今期のユニットバリューの伸び率は▲0.11%となりました。

(2) 来期の運用方針

運用の基本方針については当期と変更はございません。また、来期の運用方針につきましても基本方針に基づいて運用を行ってまいります。

○特別勘定選択タイプ

(1) 当期の運用方針及び運用内容

運用の基本方針は、ワールド・ミックス40、ワールド・ミックス60、ワールド・ミックス80については主として日本の株式・公社債等および海外の株式・公社債等を運用対象とする投資信託を組み合わせることにより、リスクの低減に努めつつ中長期的な運用成果を目指しております。基本資産配分及び資産別配分につきましては表1の通りです。また、市場環境の変化に対応するため±5%程度の範囲内で基本資産配分に対する許容範囲を設けております。また、マネープールについては円建ての短期金融商品等で運用し、流動性を十分配慮した運用を目指しております。

当期につきましても上記の基本方針の下で運用を行ってまいりました。また、上記のような市場動向の下で、資産配分を基本資産配分の許容範囲内に収めつつ、投資信託の組入れ比率を高水準に保つ運用を行った結果、当期のユニットバリューの伸び率は、ワールド・ミックス40で▲0.55%、ワールド・ミックス60で0.78%、ワールド・ミックス80で2.12%となりました。

(2) 来期の運用方針

運用の基本方針については当期と変更はございません。また、来期の運用方針につきましても基本方針に基づいて運用を行ってまいります。

〈表1〉

〈基本資産配分〉

特別勘定名	株式	債券(含、短期金融商品等)
ワールド・ミックス40 (バランス指向)	40%	60%
ワールド・ミックス60 (成長指向)	60%	40%
ワールド・ミックス80 (積極指向)	80%	20%

〈資産別配分〉

特別勘定名	国内株式	外国株式	国内債券	外国債券
ワールド・ミックス40 (バランス指向)	27%	13%	30%	30%
ワールド・ミックス60 (成長指向)	40%	20%	20%	20%
ワールド・ミックス80 (積極指向)	60%	20%	16%	4%

2. 保有契約高

区分	件数	金額(百万円)
最低年金原資保証タイプ	4	8
特別勘定選択タイプ	7	24
合計	11	32

3. ユニットバリューと運用利回りの推移

	最低年金原資保証タイプ		ワールド・ミックス40		ワールド・ミックス60		ワールド・ミックス80	
	ユニットバリュー	運用利回り	ユニットバリュー	運用利回り	ユニットバリュー	運用利回り	ユニットバリュー	運用利回り
2022年3月末	128.5644		170.4458		190.6963		187.5473	
2022年4月末	127.3951	-0.91%	168.7431	-1.00%	187.8895	-1.47%	184.1198	-1.83%
2022年5月末	127.4435	-0.87%	168.8334	-0.95%	188.5593	-1.12%	186.0231	-0.81%
2022年6月末	125.8219	-2.13%	166.8233	-2.13%	184.3189	-3.34%	179.6960	-4.19%
2022年7月末	127.6851	-0.68%	170.2479	-0.12%	190.1942	-0.26%	187.3600	-0.10%
2022年8月末	127.7884	-0.60%	169.5151	-0.55%	189.0998	-0.84%	185.9004	-0.88%
2022年9月末	124.6628	-3.03%	165.6714	-2.80%	183.6272	-3.71%	179.8419	-4.11%
2022年10月末	126.3122	-1.75%	170.6107	0.10%	191.6030	0.48%	188.1897	0.34%
2022年11月末	126.9093	-1.29%	169.4832	-0.56%	191.3981	0.37%	189.6278	1.11%
2022年12月末	123.9312	-3.60%	161.1737	-5.44%	180.8935	-5.14%	179.2404	-4.43%
2023年1月末	125.3887	-2.47%	165.7730	-2.74%	187.5947	-1.63%	186.7128	-0.44%
2023年2月末	126.5310	-1.58%	167.6278	-1.65%	189.8902	-0.42%	188.9745	0.76%
2023年3月末	128.4171	-0.11%	169.5126	-0.55%	192.1895	0.78%	191.5148	2.12%

(注) ユニットバリューとは、各特別勘定の運用開始時を100として、「持ち分1口当たりの価値」を意味します。
 運用利回りはユニットバリューの2022年3月末からの伸び率を記載しております。
 マネープールについては2022年度の残高はございません。

4. 資産の内訳

(2021年度末)

(単位:千円、%)

区分	最低年金原資保証タイプ		ワールド・ミックス40		ワールド・ミックス60		ワールド・ミックス80	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
現預金・コールローン	99,785	2.5	798	1.9	226	2.0	2,633	10.4
公社債	2,697,806	67.9	—	—	—	—	—	—
株式	1,161,212	29.2	—	—	—	—	—	—
外国公社債	—	—	—	—	—	—	—	—
外国株式等	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	40,663	95.2	10,907	95.9	22,643	89.6
貸付金	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	14,777	0.4	1,252	2.9	240	2.1	—	—
合計	3,973,582	100.0	42,715	100.0	11,375	100.0	25,276	100.0

(2022年度末)

(単位:千円、%)

区分	最低年金原資保証タイプ		ワールド・ミックス40		ワールド・ミックス60		ワールド・ミックス80	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
現預金・コールローン	138,930	3.3	435	1.1	315	3.2	1,235	7.2
公社債	2,582,591	61.1	—	—	—	—	—	—
株式	1,187,128	28.1	—	—	—	—	—	—
外国公社債	—	—	—	—	—	—	—	—
外国株式等	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	39,776	96.0	9,265	94.6	15,916	92.8
貸付金	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	317,101	7.5	1,240	3.0	210	2.1	—	—
合計	4,225,750	100.0	41,452	100.0	9,791	100.0	17,151	100.0

(注) 2022年度末、2021年度末ともマネープールの残高はございません。

5. 運用収支状況(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:千円)

項目	最低年金原資保証タイプ		ワールド・ミックス40		ワールド・ミックス60		ワールド・ミックス80	
	金額		金額		金額		金額	
	2021年度	2022年度	2021年度	2022年度	2021年度	2022年度	2021年度	2022年度
利息配当金等収入	48,434	49,366	—	438	1,067	919	5,959	3,368
有価証券売却益	45,552	28,585	—	—	—	—	—	—
有価証券償還益	—	—	—	—	—	—	—	—
有価証券評価益	436,341	525,177	16,521	16,297	5,682	4,907	11,325	8,196
為替差益	—	—	—	—	—	—	—	—
金融派生商品収益	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
有価証券売却損	33,013	105,656	—	—	—	—	—	—
有価証券償還損	—	—	—	—	—	—	—	—
有価証券評価損	503,375	459,116	15,268	16,521	6,212	5,682	16,015	11,325
為替差損	—	—	—	—	—	—	—	—
金融派生商品費用	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の費用	5	6	—	—	—	—	—	—
収支差計	▲6,066	38,349	1,252	214	537	144	1,269	238

(注) 2022年度末、2021年度末ともマネーパールの残高はございません。

6. 国内公社債主要銘柄

○最低年金原資保証タイプ

(1) 銘柄の明細(保有上位10銘柄)

順位	銘柄名	種別	額面(千円)	時価単価	時価額(千円)	構成比(%)
1	第155回 利付国債(5年)	国債	631,000	101.03	637,520	24.7
2	第447回 利付国債(2年)	国債	288,000	100.12	288,345	11.2
3	第32回 利付国債(30年)	国債	125,000	121.86	152,320	5.9
4	第156回 利付国債(5年)	国債	141,000	100.52	141,728	5.5
5	第364回 利付国債(10年)	国債	138,000	98.15	135,441	5.2
6	第4回 利付国債(40年)	国債	86,000	121.96	104,883	4.1
7	第31回 利付国債(30年)	国債	82,000	120.28	98,630	3.8
8	第361回 利付国債(10年)	国債	99,000	98.68	97,691	3.8
9	第151回 利付国債(20年)	国債	80,000	106.98	85,581	3.3
10	第34回 利付国債(30年)	国債	69,000	120.29	82,997	3.2

(2) 種類別保有状況

(単位:千円、%)

項目	2021年度末		2022年度末	
	時価額	構成比	時価額	構成比
国債	2,697,806	100.0	2,582,591	100.0

○特別勘定選択タイプ

2022年度末、2021年度末とも国内公社債は保有しておりません。

7. 国内株式主要銘柄

○最低年金原資保証タイプ

(1) 保有上位30銘柄

(単位:株、千円、%)

順位	銘柄名	2022年度末				
		業種	株数	時価単価	時価額	構成比
1	トヨタ自動車	輸送用機器	22,500	1,880	42,300	3.6
2	ソニーグループ	電気機器	3,000	11,985	35,955	3.0
3	キーエンス	電気機器	400	64,450	25,780	2.2
4	三菱UFJフィナンシャルグループ	銀行業	26,800	848	22,723	1.9
5	日本電信電話	情報・通信業	5,100	3,962	20,206	1.7
6	ソフトバンクグループ	情報・通信業	3,400	5,182	17,618	1.5
7	第一三共	医薬品	3,600	4,822	17,359	1.5
8	信越化学工業	化学	4,000	4,275	17,100	1.4
9	三菱UFJフィナンシャルグループ	銀行業	2,900	5,298	15,364	1.3
10	日立製作所	電気機器	2,100	7,252	15,229	1.3
11	東京エレクトロン	電気機器	900	16,040	14,436	1.2
12	任天堂	その他製品	2,800	5,131	14,366	1.2
13	武田薬品工業	医薬品	3,300	4,350	14,355	1.2
14	三井物産	卸売業	3,300	4,116	13,582	1.1
15	KDDI	情報・通信業	3,300	4,093	13,506	1.1
16	三菱商事	卸売業	2,800	4,751	13,302	1.1
17	HOYA	精密機器	900	14,560	13,104	1.1
18	伊藤忠商事	卸売業	2,900	4,301	12,472	1.1
19	ダイキン工業	機械	500	23,655	11,827	1.0
20	リクルートホールディングス	サービス業	3,200	3,650	11,680	1.0
21	本田技研工業	輸送用機器	3,300	3,510	11,583	1.0
22	オリエンタルランド	サービス業	2,500	4,528	11,320	1.0
23	東京海上ホールディングス	保険業	4,200	2,547	10,697	0.9
24	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	5,680	1,878	10,667	0.9
25	村田製作所	電気機器	1,300	8,040	10,452	0.9
26	セブン&アイホールディングス	小売業	1,700	5,975	10,157	0.9
27	ファナック	電気機器	2,000	4,760	9,520	0.8
28	ファーストリテイリング	小売業	300	28,880	8,664	0.7
29	ソフトバンク	情報・通信業	5,300	1,529	8,103	0.7
30	富士通	電気機器	400	17,835	7,134	0.6

(2) 業種別保有状況

(単位:千円、%)

業種名	2021年度末		2022年度末	
	時価額	構成比	時価額	構成比
水産・農林	1,049	0.1	1,062	0.1
鉱業	3,959	0.3	3,352	0.3
建設業	23,406	2.0	21,056	1.8
食料品	40,020	3.4	45,440	3.8
繊維製品	4,597	0.4	5,825	0.5
パルプ・紙	3,940	0.3	5,015	0.4
化学	76,375	6.6	76,984	6.5
医薬品	57,317	4.9	65,619	5.5
石油石炭製品	5,327	0.5	5,470	0.5
ゴム製品	7,248	0.6	8,341	0.7
ガラス土石製品	8,882	0.8	9,057	0.8
鉄鋼	10,751	0.9	11,591	1.0
非鉄金属	9,173	0.8	8,827	0.7
金属製品	5,742	0.5	5,981	0.5
機械	60,538	5.2	63,591	5.4
電気機器	210,327	18.1	213,600	18.0
輸送用機器	95,257	8.2	89,344	7.5
精密機器	30,660	2.6	30,415	2.6
その他製品	25,595	2.2	28,224	2.4
電気・ガス業	13,816	1.2	14,493	1.2
陸運業	36,742	3.2	36,759	3.1
海運業	8,986	0.8	7,564	0.6
空運業	5,112	0.4	5,745	0.5
倉庫・輸送	1,728	0.1	1,891	0.2
情報・通信業	101,380	8.7	101,795	8.6
卸売業	65,071	5.6	69,058	5.8
小売業	49,301	4.2	53,847	4.5
銀行業	64,639	5.6	71,643	6.0
証券商品先物	8,689	0.7	7,504	0.6
保険業	26,109	2.2	26,501	2.2
その他金融業	13,544	1.2	12,885	1.1
不動産業	23,481	2.0	23,071	1.9
サービス業	62,434	5.4	55,563	4.7
全体	1,161,212	100.0	1,187,128	100.0

○特別勘定選択タイプ

2022年度末、2021年度末とも国内株式は保有しておりません。

8. 外国公社債主要銘柄・外国株式等主要銘柄

2022年度末、2021年度末とも最低年金原資保証タイプ、特別勘定選択タイプにおいて外国公社債、外国株式等は保有しておりません。

9. その他の証券主要銘柄

○最低年金原資保証タイプ

2022年度末、2021年度末ともその他の証券は保有しておりません。

○特別勘定選択タイプ

ワールド・ミックス40

銘柄の明細

順位	銘柄名	種別	口数	時価単価	時価額(千円)	構成比(%)
1	バランス30VA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	16,718,435	2.0208	33,784	84.9
2	日本株式インデックス・オープンVA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	2,068,582	2.8967	5,992	15.1

ワールド・ミックス60

銘柄の明細

順位	銘柄名	種別	口数	時価単価	時価額(千円)	構成比(%)
1	バランス50VA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	2,957,035	2.5055	7,408	80.0
2	日本株式インデックス・オープンVA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	640,991	2.8967	1,856	20.0

ワールド・ミックス80

銘柄の明細

順位	銘柄名	種別	口数	時価単価	時価額(千円)	構成比(%)
1	マイセクション75VA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	4,431,023	3.0451	13,492	84.8
2	日本株式インデックス・オープンVA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	836,594	2.8967	2,423	15.2